

西大和つうしん

2017年6月号
No.420



鎌ヶ岳・水沢岳間に位置する奇岩「キノコ岩」を登る <2017年4月23日>

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第420号(2017年6月号)

【目次】

6月度山行計画	1
7月度山行計画	2
6・7月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・登山学校 《4/22》 大峰山脈 洞川千本谷付近(船江)	5
・例会山行 《4/23》 鈴鹿山脈 鎌ヶ岳(勝尾)	7
・例会山行 《5/7》 兵庫の山 小野アルプス(永井)	8
・自主山行 《5/13》 兵庫の山 雪彦山(船江)	9
・例会山行 《5/21》 六甲山系 六甲縦走・西コース(上田)	10
ハイカーのための搬出講習会(5/14)	11
室内例会だより(4/26)	13

6月度山行計画

～県連主催クリーンハイク～

例会山行1 宇陀の山 《額井岳》 812.3m

【日程】6月4日(日) (L田中悦男)

【集合】榛原駅南出口 8:20 天満台行 8:34 発

【コース】天満台バス停～(25)～十八神社～(50)～額井岳頂上～(50)～戒場山頂上～(20)～戒長寺～(38)～天満台バス停

【帰り】天満台2丁目 発 13:00/13:18/14:00/14:16/15:16/16:16

※歩行時間：約3時間

～夏山を目指して、歩荷訓練山行を行います！！～

～目標重量：12～16kg～

例会山行2(訓練山行) 鈴鹿山系 《国見岳～御在所岳》

【日程】6月18日(日) (L島崎)

【集合】上牧町役場前P 6:30

【コース】湯の山温泉(8:30)～(中道コース)～キレット～国見峠～国見岳～藤内小屋～湯の山温泉(15:30)

※歩行時間：約6時間 ※歩行距離：10km未滿

～新緑の原生林と幽玄の谷へ～

例会山行2 大峰ヴァリエーション 《赤井谷～深仙》

【日 程】 6月25日(日) (L 藤本)

【集 合】 上牧町役場前駐車場 5:00

(メンバーによっては自宅前ピックアップも検討)

【コース】 釈迦ヶ岳太尾登山口(8:30)～P.1,434～(※1)～赤井谷(溪流上で昼食)～深仙～〔(※2)釈迦ヶ岳〕～千丈平～P.1,434～太尾登山口(16:00)〕

※1: P.1,434 から一般登山道を離れ、赤井谷に下ります。この間、険路ではありませんが(但し、一般登山道上の標識には、このルートは「危険」と記されています)、ルートファインディングが必要です。

※2: 天候・時間・その他の状況により、釈迦ヶ岳を省略して、深仙から直接千丈平へトラヴァースすることがあります。

7 月 度 山 行 計 画

～オオヤマレンゲの咲く近畿の最高峰へ～

例会山行1 大峰の山 《八経ヶ岳》 1,915m

【日 程】 7月2日(日) (L 辻)

【集 合】 上牧役場前駐車場 6:30 出発

【コース】 行者還トンネル西口～(1h)～奥駈道出合～(1h10)～聖宝ノ宿跡～(50)～弥山小屋～(30)～八経ヶ岳～(25)～弥山小屋～(1h35)～奥駈道出合～(40)～行者還トンネル西口

※ 歩行時間: 約6時間10分

～岩場と急登を越えて台高の前衛峰へ!!～

例会山行2 (訓練山行) 台高の山 《迷岳》 1,309m

【日 程】 7月9日(日) (L 藤井)

【集 合】 上牧役場前駐車場 6:00 出発

【コース】 奥香肌峽スメール～(2h)～飯盛山～(2h40)～迷岳～(1h)～唐谷分岐～(1h20)～林道終点～(50)～スメール

※ 歩行時間: 約7時間50分、※ スメールで入浴予定

※ 訓練山行ですので、各自無理のない範囲で歩荷をしてください

西大和山の会 カレンダー

6月			7月		
1	木		1	土	
2	金		2	日	例会山行1 八経ヶ岳(辻)
3	土		3	月	
4	日	例会山行1 クリーンハイク・額井岳(田中悦)	4	火	県連・理事会
5	月		5	水	
6	火	県連・理事会	6	木	
7	水		7	金	
8	木	県連初級登山学校・座学⑤	8	土	県連・テーピング講習会
9	金		9	日	例会2(訓練山行) 迷岳(藤井)
10	土	県連初級登山学校・実技山行⑤	10	月	
11	日	(クリーンハイク・予備日)	11	火	
12	月		12	水	
13	火		13	木	
14	水		14	金	
15	木		15	土	
16	金		16	日	例会山行2 権現山～蓬莱山(橋本)
17	土	県連40周年記念講演会	17	月	
18	日	例会2(訓練山行) 御在所岳～国見山(島崎)	18	火	
19	月		19	水	西大和つうしん原稿締切
20	火		20	木	
21	水	西大和つうしん原稿締切	21	金	
22	木		22	土	
23	金		23	日	
24	土		24	月	
25	日	例会山行2 赤井谷～深仙(藤本)	25	火	
26	月		26	水	西大和つうしん8月号メール配信
27	火		27	木	
28	水	6月度室内例会	28	金	
29	木		29	土	
30	金		30	日	
			31	月	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	5/31 室内 例会	例会1	6/17 県連 40周年		例会2	例会2	例会1	例会2	
			6/4 クーン ハイ	記念 講演会	懇 親 会	6/18 御在所 国見山	6/25 赤井岳 深仙	7/2 八経ヶ 岳	7/9 迷岳	
1	(窪田)									
2	都築		○							
3	藤井		○	○					LO	
4	(石田)									
5	田中悦		L◎							
6	島崎		◎	○		LO				
7	田中初		○							
8	村田		○	○						
9	林		◎	○						
10	辻		◎					LO		
11	勝尾		○							
12	藤本		○	○			LO			
13	杉村		○							
14	高橋									
15	玉越									
16	阪口									
17	橋本		○	○						
18	今井			○						
19	亀高			○						
20	船江									
21	野路			○						
22	中		○	○						
23	杉森		○	○						
24	上田									
25	永井									
26	川田		○							
	合計									
	緊急 連絡先									

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

県連初級登山学校・第2回実技山行 (テーマ：地図読み)

大峰山脈 洞川千本谷付近

【日程】4月22日(土) 晴れ

【参加者】《県連教育部》L 藤本(西大和)・杉川(奈良労山)

《受講生》船江・杉森、他会：奈良 HC 4・こぶし 2 (計 10名)

【コースタイム】道の駅「吉野路黒滝」(8:30)→洞川キャンプ場付近(9:00)～現在地確認(9:10/35)・報告～キャンプ場より千本谷方向へ地図読み(10:30/11:30)～昼食(11:50/12:40)昼食地点にて山座同定(～13:30～P.934 まで地図読み(14:05)～キャンプ場(14:30)



現在地確認：到着後、まずは自分の地図上の現在地点がどこか？ それ間違いなのか？ 持参した地形図で確認するため、10名がABCの3班に分かれ確認を行った。3方向に散り15分後に集合。それぞれ地形図に記された発見できるものが最低5個は見つけよう！ まずは谷筋を見つけること。小さな水流も見逃してはいけない。岩肌にその部分だけ苔の付着が他より多いとか、水が流れ出ている、など小さな手がかりを見つけ、そこは谷筋であるという確認と、その両側は尾根であるか？ そのたびに地形図との照合をする。地図上の林道をあてにしているわけではない。地形図と実際の林道は直接つながっていないことが多い。尾根よりも沢(谷筋)を見つけると現在地が判断しやすいことがわかる。沢に小さな堰堤があっても、地図には表記が無いことが多い。

る、など小さな手がかりを見つけ、そこは谷筋であるという確認と、その両側は尾根であるか？ そのたびに地形図との照合をする。地図上の林道をあてにしているわけではない。地形図と実際の林道は直接つながっていないことが多い。尾根よりも沢(谷筋)を見つけると現在地が判断しやすいことがわかる。沢に小さな堰堤があっても、地図には表記が無いことが多い。



千本谷方向へ進む：枝沢の分岐を見つけ2班に分かれて確認作業。地形図どおり先で4つ股に分かれているか？ 地図をコンパスで正置し、沢の方向を確認しながら進む。あれ？ 怪しいな…と思ったら、その前にOKと地形の確定した地点まで戻ってみる。雨裂を沢(谷筋)と間違えないように。常に考えながら歩を進める。コースがあっているか否かはSL2人見極め確認に動き、Lとメンバーは待機して体力温存しておこう。天気図の気圧の谷などの前線は、地形図の等高線にも応用して読むことが出来る。などなど講師の興

ないように。常に考えながら歩を進める。コースがあっているか否かはSL2人見極め確認に動き、Lとメンバーは待機して体力温存しておこう。天気図の気圧の谷などの前線は、地形図の等高線にも応用して読むことが出来る。などなど講師の興

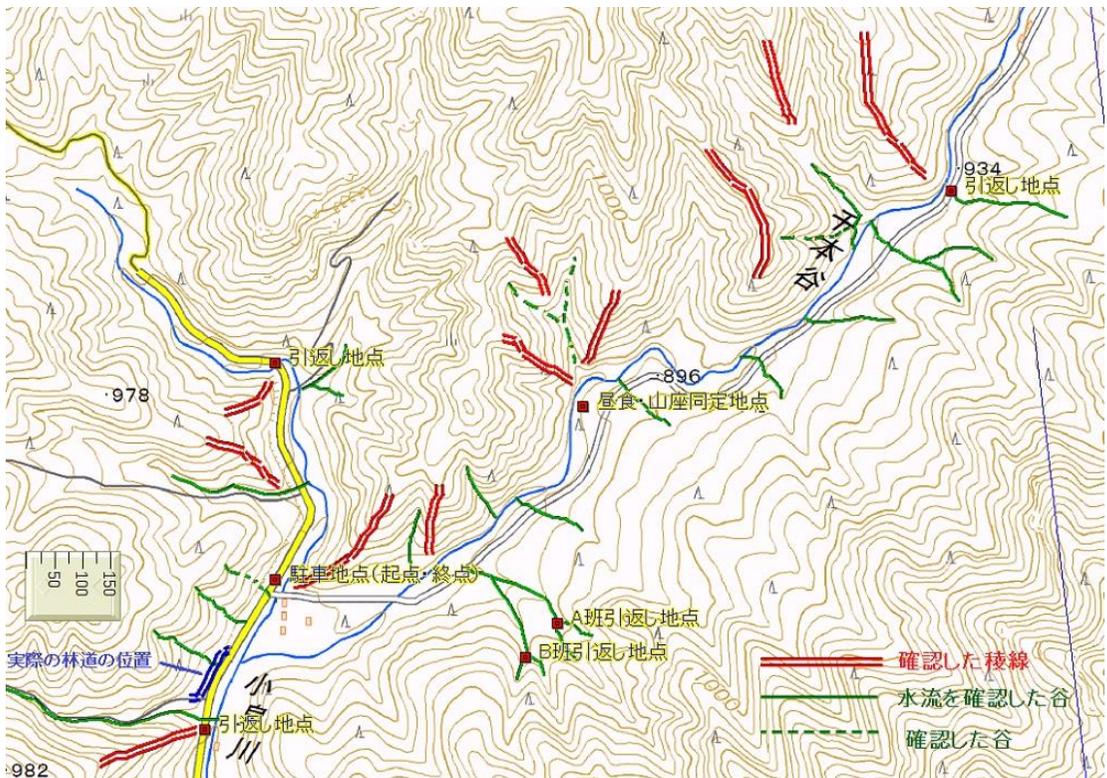


味深い話も多く、聞き漏らさないよう耳もアンテナを立てながら楽しく歩くことが出来た。



昼食後、山座同定：昼食地点で目の前に見えていた尖がったピーク。歩きだして別地点から見ると、もう違った山の形になっている。尾根の先端だったようだ。少し歩くと地図の方向も違って来る為、コンパス正置は15分ごとが基本。水が流れている谷（沢）が2股に分かれている場所を発見したら、正置して沢の方向を確かめる。P.934までこの作業を続け、折り返しキャンプ場まで戻った。

最後に：山の会に入会するまでは、自分で磁北線を表示させた地理院地図を印刷することすら出来なかったし、等高線や尾根や谷や地形図記号などまったく理解しておらず、知ろうともしていなかった。連れて行ってもらっていた受け身の山行だったことを恥ずかしく思った。自己責任で山へ入る、その準備と作業を怠ってはならない。講師の方々は私のような不勉強な初心者へ、そういう「気づき」をさせて下さる。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。これからもご指導よろしくお願い致します。



(記：船江照代)

例会山行2

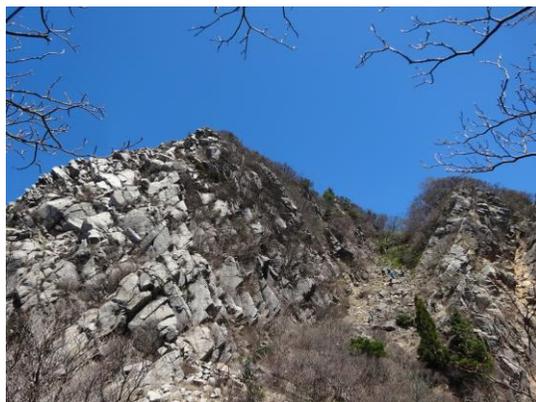
鈴鹿山系 鎌ヶ岳 1,161m

【日 程】4月23日(日) 晴れ

【参加者】L 藤井・SL 杉村・田中悦・勝尾・今井・亀高・野路・永井 (8名)

【コース】宮妻峡(8:40)～カズラ谷分岐(10:35)～岳峠(11:02)～鎌ヶ岳(11:15)～岳峠(11:35/12:10)～鎌尾根分岐(13:16)～水沢岳(13:58)～水沢峠(14:30)～宮妻峡(16:04)

絶好の登山日和に恵まれた日曜日とあって、芽吹きの木々に彩られた山々に囲まれた宮妻峡の駐車場には、もうすでに沢山の車が止まっていた。身支度を整え出発する。すぐに登山口の分岐になり、今回はカズラ谷のコースを取る。3年前に来た時と逆周りのコースだ。沢に入っただけですぐに渡渉から始まる。綺麗な沢で少し登ると大きな滝もあり、2,3回の渡渉の後、沢沿いから尾根道へ。段々傾斜も急になり、汗ばんで疲れて来た体に時折吹く爽やかな風が心地良い。「あっショウジョウバカマ!! ハルリンドウも!!」と後から声が聞こえ、振り向くと道から少し外れた所に可憐な花が咲いていた。その辺りからイワウチワや、花木のミツバツツジやタムシバなども見られる様になり、花々のお陰で、厳しい登りも気持ちに余裕を持てたように感じた。



雲母峰との分岐から岳峠までは、笹を掻き分けながら歩く事20分。鋭い岩峰の鎌ヶ岳に登っている人々が見える。私達も厳しいルンゼを登り、左に回り込む岩場を越えて山頂へ。山頂では御在所岳、雨乞岳、綿向山が目前に見えた。丁度昼食時で混みあったので、ルンゼの下の広場で昼食にする。この場所もすぐ人で一杯になった。

昼食後は鎌尾根から水沢岳、水沢峠から宮妻峡へ下る。鎌尾根からはヤセ尾根で、所々花崗岩の風化したザレ場の難所(衝立岩のある分岐の急な下りや、水沢岳の頂上直下のキノコ岩のザレ場の登りなど)や、鎖場などがあり気が抜けない。水沢峠に着き、少しは楽な下りになるかと思いきや、ここも倒木や浮石で荒れた足場の悪い激下りだった。水沢峠登山口まで沢沿いや高巻きの道、ここが下山道?と思うようなまたまた激下りの道が続き、緊張の連続だったが、途中、下山



道の周りの山肌一面にイワウチワの大群落があり、一同大感激する。岩ヶ峰のイワウチワの大群に勝るとも劣らない見事な大群落で、これに出会ただけでも来た甲斐があったと思えた。水沢峠登山口から林道になり30分程で宮妻峡の駐車場に着いた。今回は気の抜けない所が多く緊張の連続だったが、天候にも恵まれ、下山後は充実感と爽快感を味わうことが出来た山行だった。

(記：勝尾栄美子)

例会山行1

兵庫の山 小野アルプス

【日 程】5月7日(日) 晴れ

【参加者】L 田中悦・SL 藤井・島崎・田中初・辻・杉村・亀高・船江・杉森・永井・川田(11名)

【コースタイム】ゆびか温泉駐車場(8:35)～高山(8:47)～前山(9:10)～愛宕山(9:27)～安場山(9:37)～総山(10:26)～惣山(11:02/52 昼食)～岩倉峠(12:08)～紅山(12:35/44)～岩山(13:13)～宮山(13:38)～鴨池公園駐車場(14:20)

200メートルもない低山で、しかも踏み慣らされて迷うことのない山道で、初心者や家族連れでも手軽に行ける山を、人はなぜ“アルプス”と呼ぶのか……。この謎に迫る山行であった。

ゆびかの駐車場を出発して10分余りで1座目の高山、そこから20分余りで2座目の前山と、頂上らしからぬただの通過点を通り過ぎる。

立札がないとわからない。愛宕山、安場山と登っては下る繰り返しを経て、急で長い階段を上がって舗装された道に出る。ここに小さな祠がありお参りをする。

再び山道に入り5座目の総山、6座目のアンテナ山を縦走し、“最高峰”惣山(小野富士と呼ばれる)198メートルを登る。ここまで来るとさすがに息が切れ暑くなるが、風が心地よく爽やかさを感じる。展望デッキに上がり周りの眺望を楽しむ。惣山の頂上は岩場になっていて眺めが素晴らしく、ここで昼食タイムとする。遠くに本日のメインの紅山が見える。標高184メートルだが、山の半分は岩山で険しそうである。登山者が前かがみになって登るのが小さく見える。ガンバ!

惣山をあとにして、いよいよ紅山を目指して下る。下る。これでもかというほど下る。岩倉峠を過ぎるといよいよ紅山の岩壁が目の前に現れる。最初は余裕の二足歩行だったが、すぐに手を使わないと登れなくなる。幸い、岩場はしっかりと足がかりがありグリップしやすい。落ち着けば比較的安定して登ることができるが、下を見ると恐怖がつる。上の人が足を踏み外したらと一瞬不安がよぎる。足がすくんで動けなくなる人が出てきたため、順番を崩して行ける人から行くことにする。わずか20分強の岩登りだったが、スリルを味わえ達成感を覚えた。頂上で、笑顔で記念写真を撮り、最後の2座を縦走して小野アルプスに別れを告げた。

(記：永井章夫)



自主山行

兵庫の山 大天井岳 844m～雪彦山 915m～鉾立山 952m

【日 程】 5月13日(土) 雨

【参加者】 L 亀高、SL 今井、船江、杉森(4名)

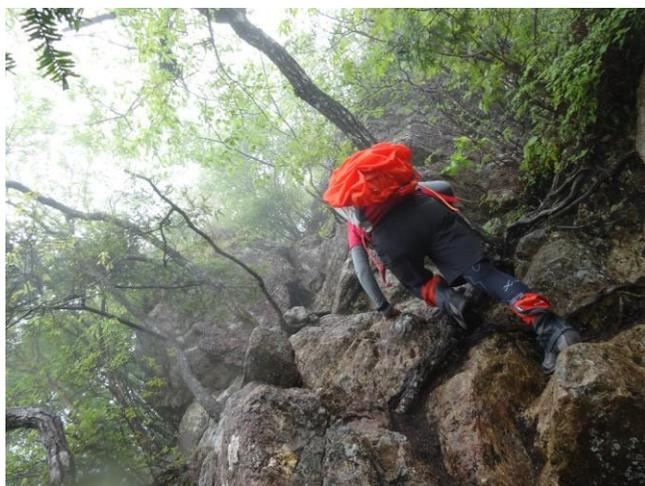
【コース】 登山口(9:30)～不動岩(9:43)～展望岩(10:00)～行者堂跡(10:20)～出雲岩(10:40)～セリ岩(10:50)～馬の背(11:10)～大天井岳(11:20)～天狗岩(11:40)～P838(11:48)～雪彦山(12:14/40 昼食)～鉾立山(13:01)～ナメ滝(13:52)～虹の滝(14:10)～登山口(14:50)

夏山大キレット組の岩稜訓練第2回目。変化に富み楽しい岩場の多い雪彦山へ。朝から雨だったが、午前中には止むであろうと決行。雨に濡れた岩場は危険と判断し、本命の地蔵岳の岩稜は回避して雪彦～鉾立の周回コースを行くことにする。秋の例会山行で雪彦山を計画している私にとって、下見山行も兼ねることが出来た。

登り始めは丸太階段の急登。雨で濡れた地面からヒルが飛びついてくる。濡れた岩、木の根、ヒルに神経を尖らせながら進む。クライミングポイントの出雲岩、ザックを擦りながらぐり抜けたギリギリセーフのセリ岩、地味だが油断大敵なクサリ場でクサリに頼らず登る練習などなど。進むたびに面白い岩場が次々に現れて飽きさせない。大天井岳を越え少し行くと、当初計画していた地蔵岳への分岐の表示があった。いつかまた天気の良い日に来るからね～と我慢。雪彦山から鉾立山への稜線は歩きやすく、天気が良ければ素晴らしい眺望であったろう。この日は止まない雨の為にガスで真っ白。これもまた次回のお楽しみ。汗と雨で既にべたべただったが、鉾立山への藪漕ぎでは濡れた葉の水滴で更にびしょ濡れになる。下りは、進むにつれ水量が増えている沢の渡渉を繰り返す。沢沿いはやはりヒルに遭遇。ナメ滝や虹ヶ滝の清流に癒され、静かな森林を歩き足早に下山。汗と雨でベタベタの体を雪彦温泉へ立ち寄りスッキリ。バラエティ豊かな雪彦山。

秋の例会山行、皆様ぜひご参加ください！

(記: 船江照代)



例会山行2

六甲山系 六甲全山縦走（西コース）

【日 程】5月21日（日）晴れ

【参加者】L 亀高・SL 島崎・田中・高橋・今井・船江・中・上田（8名）

【コースタイム】須磨浦公園(8:08)～展望台(8:25)～旗振山(8:43)～鉄拐山(9:00)～おらが茶屋(9:15)～梅尾山(9:52)～横尾山(10:15)～馬ノ背(10:35)～東山(10:52)～妙法寺(11:25)～高取山(12:15/12:40 昼食)～鶴越駅(13:45)～菊水山(15:03)～鈴蘭台分岐(15:35)～鈴蘭台駅(16:22)

海と山に挟まれた須磨浦公園駅 8 時集合。はるばる奈良からやって来ました。潮の香りと初夏らしい心地よい風が吹いています。これから始まる縦走に備えてしっかり準備運動。8 時 8 分出発。いきなり坂! 坂! まだエンジンのかからない身体が重い。汗が噴き出る。15 分程で展望台。一息ついて水分補給。口々に「この登りしんどいな〜」「汗で髪の毛がお風呂上りみたいやわ〜」。旗振山や鉄拐山からは明石海峡大橋、淡路島、市街地を望む。

陽差しは真夏の様だ。やがて縦走路はウバメガシの群生林へ入って行く。山中は涼しい。歩調も快適。おらが茶屋、市街地を抜け、幅の狭い長〜い階段を下りる。300 段位あるそうだ。下った分だけ階段を上り返す。途中休憩をいれる。「長い階段やったな〜」。振り返ると歩いてきたおらが茶

屋、鉄拐山、旗振山が見える。梅尾山、横尾山と歩を進め今回の核心部である須磨アルプス馬の背に出る。荒々しいむきだしの岩稜、スリリングな姿は別世界だ。六甲縦走路の標識をたよりに東山、妙法寺、住宅地へと出て来たが、入り組んだ



迷路の様な住宅地の中で標識を探すのは迷いやすので注意。山と海の地形で平坦なところが少なく、階段、坂道が多い。昼食場所の高取山（高取神社）には予定コースタイムより 45 分遅れて到着。何度も水分補給と小休止。鶴越駅を通過、菊水山を目指す。この暑さと階段、坂道歩きでメンバーも口数少なく静かな気がする。徐々に急登階段が増え始める。これが延々と菊水山山頂まで続いているらしい。足が前に出ない。上が





らない。山頂まではホントに長かった。予定タイムより1時間遅れていた。ここでLとSLはゴールの新神戸駅まで3時間必要だが、続けるかどうか相談中。まだ、天王吊橋から鍋蓋山の急登がある。その先はどうか？大丈夫か？結果、続行する事になる。しばらく歩くとLが「足が攀った!」。応急処置を終え歩き出す。「鈴蘭台駅2km/鍋蓋山・再度山方面」の分岐の標識を見つけ再び、下山か続行か思案。結果ゴールを目指す事にする。更にNさん

「足が攀った!」。応急処置をする。次は我が身かも?と不安になる。ここでL・SLの最終決断が出る。ゴールまでの残りは宿題として残しておこう。残念な気持ちと安堵の気持ちの中、15時35分下山することにした。鈴蘭台駅16時22分到着。この日は記録的な暑さとなり真夏日だったらしい。

小さな山をいくつも登り、下り、階段また階段よく歩きました。後半の六甲全山縦走・東コースは秋、楽しみに待ちたいと思います。

(記：上田雅子)

講習会報告

例会山行2

奈良県勤労者山岳連盟救助隊主催

ハイカーのための搬出講習会

【日 程】5月14日(日) 晴れ

【会 場】高取山(上子島砂防公園～高取城跡)

【参加者】L野路・SL 杉森・田中悦・島崎・田中初・橋本・今井・船江・中・永井(西大和10名・他会29名：合計39名参加)

【スケジュール】9:00～10:30 上子島砂防公園にて足関節(足首)・手首テーピング講習会
10:40～12:20 高取城登城、昼食後国見櫓跡へ移動

12:40～14:40 国見櫓跡にて搬出法基本講習。山道での搬出の演習(国見櫓跡～猿石石像迄)

15:30～ 反省会、総括、解散

1. テーピング講習会(講師：藤田 章貴氏/奈良県勤労者山岳連盟 救助隊長)

ホワイトテープ 38mm を使い足首の内反捻挫を想定してのデモが行われた。ダメージを受けた箇所をしっかりと固定する。その後2人1組となり、実践した。講

師はテープの長さを目分量で手際よく切り綺麗に巻いておられた。同じように説明書を見ながらするが、テープの長さが足りなかったり、長すぎたり、シワが出来てしまったり難しかったが巻き終えたのちにはしっかり固定されたことを確認できた。又、実践はしなかったが手首捻挫の巻き方も教わった。

2. 搬出法基本講習（講師：水田 哲生氏／奈良勤労者山岳会 会長）

★ 3 種類の担架の作り方

- ①レジャーシート1枚・ストック6本使用
- ②鹿よけネット・ストック6本使用
- ③ザック3個使用

私は①の担架に乗せてもらったが、だんだん体が滑り落ちそうでした。少し不安に思った。②の鹿よけネットは簡単に担架が作れる。ネットも軽量で装備品としては持ちやすい。

★ザック・雨具の上着を使って背負い搬送法

3. 山道での搬送の実践

3 班に分かれて搬送演習をする。オヤマレンゲ 3 名、西大和 10 名でチームを組み上記③のザックを使って担架を造り、国見櫓跡～猿石石像まで約 20 分程かけ搬送する。頭部を支え 8 人で担ぎ無事搬送した。若く体も大きく、体力がある方がおられたチームでは背負って搬送されていた。

総括では、藤田章貴隊長より「今日は道幅もある登山道だったが、実際は狭いところや片方が崖になっていた

りすることもあり搬送することは難しい。背負っての搬出がよいが、登山者全般高齢になっている現在では非常に困難である。現実には救助を要請せざるを得ない。」と話された。現実にはパーティーの人数、メンバー等条件が整わなければ自分達で搬送するのは難しいと思った。でもこのような訓練を経験することは必ず自分の糧となると思う。事故を起こさないよう今後も気を付けなければと、つくづく思った講習会だった。

（記：橋本紀子）



西大和つうしん

第 420 号 (2017 年 6 月号)

2017 年 5 月 24 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>